

自己点検・評価 報告書

専門学校 麻生看護大学校

目 次

基準 1	建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標	2
基準 2	教育の内容	3
基準 3	教育の実施体制	7
基準 4	教育目標の達成度と教育効果	9
基準 5	学生支援	12
基準 6	社会的活動	16
基準 7	管理運営	17
基準 8	財務	20
基準 9	改革・改善	22

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専門学校 麻生看護大学校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

平成27年 5月 1日

校 長 松 山 博 之

自己点検・評価責任者

校長代行 百 瀬 栄美子

平成26年度

=====

基準 1 建学の精神・教育理念・教育目的・教育目標

=====

項目総括

教育理念「敬愛、叡智と技、豊かな感性」は、開校当初より明文化され教職員、ならびに社会に周知されています。

本校の教育は、生命・人間尊重に基づく敬愛の誠心を基本姿勢としています。さらに専門職業人としての誇りと責任のもとに、叡智と技を磨き、豊かな感性を身に付け、国際的且つ学際的視野に立ち、自己研鑽できる態度を育成することを基本理念としています。

また教育理念・目的・目標等については、学生要覧等・パンレット・ホームページ等で広く公表することで透明性を遵守しています。加えて、ドラスティックに変化する社会情勢・医療情勢を鑑み、具体的な教育内容・方法については、常に精査を図ることで社会が求める看護実践能力の向上に向けた教育を遂行していると判断しています。

主な課題及び改善の方向性

外部講師については、教育理念等の浸透が課題です。また、学校関係者に対しては単なる公表のみに留まらず、人材育成像を広く周知していくことが課題です。

加えて看護大学との違いの中で、専門学校の社会的役割における【臨地看護師の育成】という視点から、専門学校存在の意義ならびに本校の地域貢献についての考え方などを発信効果を踏まえながら、時期・方法・媒体の精選などが課題と捉えています。

=====

中項目 1-1

教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでいるか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 1-1-1 【学内】学生などに対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生要覧に記載がある。学生は、理念等がどこに記されているか知っている。理念の「敬愛」「叡智と技」「豊かな感性」の意味を知っている。全教職員、講師が教育目標と科目とのつながりがわかる。学生へ説明を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 1-1-2 【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学校の理念、目的、教育目標、教育方針、行動規範、ビジョン、校訓、GCBの考えが記されたカードを携帯している⇒前記の項目の意味を理解できている

課題・解決方向 外部講師については、教育理念等の浸透が課題である。講師会議や講義依頼、また実習依頼において、本校の教育方針も含む説明の時期・あり方等が今後の課題であると考え。

小項目 1-1-3 【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 教育方針、行動規範、ビジョン、校訓などを HP、パンフレット、募集要項などに記載している。

課題・解決方向 現在は、「公表している」にのみ終わっている。今後は学内演習での地域のボランティアの方々や職業実践専門課程での外部評価委員の方々等との接点を通して、教育理念を基にした人材育成像を広く社会に周知していく事が課題であると考え。

小項目 1-1-4 【学内】各修業期間における教育目的・目標が明文化され、教育計画が文書化され、提示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 授業計画書等は文書化され、提示されている。授業計画は、全体計画とコマごとの計画を文書化し、学生に提示している。

課題・解決方向 特になし

小項目 1-1-5 【学外】各修業期間における教育目的・目標が明文化され、教育計画が文書化され、提示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学科別の教育目標、学科学年別の教育計画をHP、パンフレットなどに提示・記載し、学外に公表している。

課題・解決方向 特になし

基準 2 教育の内容

項目総括

教育目標や人材育成像は保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づき、医療や看護実践の現状及び社会のニーズを踏まえて各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。また、カリキュラム作成においては、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づく専任教員から構成され、毎週カリキュラム検討会を継続しています。ここでは、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(病院)教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成編成を行っています。また保健師助産師看護師法指定規則の教育時間のほかに、教育外活動を3年間で 183 時間/設定しており看護科がめざす教育目標到達や人材育成に努めています。

カリキュラムは、体系的に編成されており、各科目間のつながりも適正です。科目ごとのシラバスも作成されており講義前に学生に配布し、到達目標・評価・参考資料等を説明しています。授業評価は学生アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋がっています。教員については、保健師助産師看護師法の指定規則が定める要件を満たしており、学科の育成目標に向けた講義を行なうことができます。

専任教員の人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。成績評価・単位認定は明確に定められており学生要覧で周知しています。

主な課題及び改善の方向性

今後も広報担当を中心に高校側からの情報収集・分析をもとに、教育内容はもとより、特に多様な学生を受け入れる現在においては、教育方法のあり方が要検討と考えています

加えて、現状のリメディアル(導入前教育、補習)教育のあり方を検討し、専門職者としての動機付けに加え、社会人基礎力の強化も図っていくことに努めます。

また業界ニーズのリサーチも体系化しつつ、学校・病院側との連携強化を今以上に図るよう努めます。

平成 26 年度は、外部からの有識者も交えた会議を実施し、カリキュラムに直接意見を取り入れて参ります。

また他の高等教育機関との連携講座等は今後の検討課題として推進して参ります。

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■自己点検・評価結果：適合

小項目 2-1-1 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 カリキュラム構築の考え方や教育内容が文書化されている。教員がカリキュラムの考え方を理解している。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-1-2 カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。

(カリキュラム作成委員等)

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 カリキュラム委員会が設置され、外部者がカリキュラム検討委員会メンバーとなり、定期的に委員会を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-1-3 カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 広報活動も専任教員が一部行い、且つ広報担当とも容易に情報交換できる環境にある。加えて職業実践専門課程の評価委員として、高校側からも高校生の気質を含む現状等を入手し懸案した上で、リメディアル教育内容にも反映することが出来ている。よって高校生の現状及び、社会のニーズを反映させる組織が整っている。

課題・解決方向

小項目 2-1-4 カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているか。またその意見を取り入れているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 企業(病院)の教育委員会・臨床指導者委員会からの評価も反映している。加えて作成に当たっては、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得ながら、作成・編成を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-1-5 シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 常勤・非常勤講師のシラバスが授業前に配布されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-1-6 各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 コマシラバス作成され学生に公開されている

課題・解決方向 特になし

小項目 2-1-7 各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、取りまとめられているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 コマシラバス計画書が共有フォルダで管理され教科間の整合性が確認できている。取りまとめの担当者が明確になっている。

課題・解決方向 外部講師については、パワーポイントの資料のみの場合もある。今後は本校の目指すシラバスの意義を随時説明していく事で、講師としての自覚責任へとつなぎ、教育の質向上に努めることが課題であるとする。

小項目 2-1-8 シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 シラバスあるいは授業計画書等が事前に学生に配布され、学生に対しコマごとの授業内容や到達目標を説明している。

課題・解決方向 特になし

中項目 2-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善への取り組みがされているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 2-2-9 学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 授業アンケートの目的が明確化され、年2回実施されている。通信については、面接授業ごとに実施できている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-10 結果に基づく教員面接を実施しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 アンケートの結果に基づきすみやかに面談が実施され、改善策を明確にしている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-11 結果に基づく研修を実施しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 経年的な研修制度計画がある。計画に基づく研修等が実施されている。実施された評価が文章化されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-12 結果に基づく授業観察を実施しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 主任が演習等の参加を行って確認している。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-13 結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 随時、結果に基づき教員に対しては、面接指導を行い、改善策を検討している。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-14 その評価結果をもとに改善活動をしているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 改善計画書をもとに改善活動がなされており、管理職と計画を共有し、管理職によって進捗管理されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-2-15 授業改善のための組織的取組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 主任および通信課程・看護科メンバーにより講義の内容の検討や評価を行う機会を設けている。

課題・解決方向 特になし

中項目 2-3 各学科の教育目標、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取組みがされているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 2-3-16 企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 専門分野や担当分野に関する研修を行っている。特に経年のないもしくは経年の少ない領域担当教員については、企業(病院)への研修を課し、実施できている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-3-17 キャリア教育などを行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 入学後、GCB教育を行いカリキュラムおよび教科外活動に組み込まれ実施されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-3-18 ビジネス教育などを行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 日々及び定期的なマナー、ビジネス教育が行われている。半期ごとに教育の実施、評価が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-3-19 コミュニケーション能力の向上に向けた取組みを行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 日々及び定期的なコミュニケーション教育が行われている。半期ごとに教育の実施、評価が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-3-20 リメディアル(導入前教育、補習)教育をやっているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生に対するリメディアル教育が行われている。その実施と評価が行われている

課題・解決方向 特になし

小項目 2-3-21 他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 卒業生や関連施設、実習病院の職員対象に講義聴講を行っている。又実習病院の各委員会に属し教育連携を計画的に行っている。

課題・解決方向

小項目 2-3-22 企業・地域・行政との連携を図っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 専任教員は、実習病院内の委員会に属し且つ、同病院と定期的な学習会を実施している。

課題・解決方向 特になし

=====

中項目 2-4 各学科の教育目標、育成人材像に向けた教員の資質の維持や向上に向けた取組がされているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 2-4-23 教職員の研修計画が作成されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 新人教員及び専任教員の人材開発計画がある。計画の実施、評価、改善が行われている。事務職員の人材開発計画がある。計画の実施、評価、改善が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-4-24 専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 麻生グループの学習会参加あり：自律により実施。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-4-25 専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 認定管理者ファースト及びセカンド研修へ参加(看護科)、教務主任研修会参加(看護科・通信課程)、麻生塾リーダー研修(看護科・通信課程)参加。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-4-26 専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 年1回研修会参加：公費、臨時研修参加：公費。上記研修会、概公費。

課題・解決方向 特になし

小項目 2-4-27 非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。(ミーティング、報告書、教務日誌等)

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生が学習日誌を書き、それを専任教員が非常勤講師との口頭での確認を行っている。

課題・解決方向 特になし

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知できるようにしています。教育環境においては、保健師助産師看護師法の指定規則に基づき環境設備を行っています。

中でも図書環境は両科の図書担当教員・学生図書委員により年次計画のもと、学生の書籍数・内容につきましては、学習環境の整備に万全を期しています。

学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、且つ学校生活における行事や臨地実習先での事故・寮生活における災害に対しては学校保険に加入し、万全の体制で臨んでいます。

防災につきましては、年に一度全教職員・学生の訓練に加え、3年生は病院主催の大災害訓練、2年生は防火訓練に学生全員が臨み、防災意識を高めるべく実体験を通して学びを深めています。

主な課題及び改善の方向性

学校施設・備品関連で、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に基づき、教育環境の整備体制を図っています。しかし大学を鑑みると、図書環境一つをあげても、指定物品については、十分に設置できています。基礎教養の科目であるリベラルアーツの視点での図書の整備に改善点を要すると考えています。この点は、専門学校というカリキュラムの制限の中で、選択制がとれず、すべて必修科目制ゆえに教育内容における制限がかかっている現状です。ゆえに図書の整備によって、教育理念に基づく豊かな感性の追求へとつなげていきたいと考えています。

また、物品管理者を決め定期的な物品点検管理を行い、教育環境整備においては文書化を図っています。が今後は学校側は管理体制を重視しながらも【看護専門職者育成】を目指す学校ゆえに、自治会主導へと発展させる教育指導へと変革していくことが改善の視点だと考えています。

中項目 3-1 各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。

■自己点検・評価結果：適合

小項目 3-1-1 組織機能図はあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 キックオフ資料に記載されている

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-2 学校の年間スケジュールはあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 年度初めに年間スケジュール表(ターム表)を作成し、教職員・学生に公開している。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-3 図書室・図書コーナー等はあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 図書室または図書コーナーを設置し、教職員・学生が利用できる状態にしている。

課題・解決方向 企業(病院側)側の図書室での閲覧、資料コピー、貸出も可能である。今後企業側との検討課題で、基礎教育側に整備するもの、領域分野および資格取得に関した関係書籍などキャリアデザインを鑑みた精選について双方から検討していく事が課題であるとする

小項目 3-1-4 学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 看護師養成所指定規則に基づき、冊数、分野ごとの整備を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-5 就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 相談室2部屋設置し、稼働している。就職に関する資料も設置している。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-6 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 分煙・禁煙等に関する規定を文書化し教室などに掲示している。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-7 環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化されているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 該当する場所に文書化し掲示している。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-8 学内の整理・整頓・清掃に関してルール等が文書化されているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学内の整理・整頓・清掃に関するルール等を文書化し教室などに掲示している。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-9 学内の整理・整頓・清掃に関し定期的に管理チェックがされているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学内の整理・整頓に関して担当を決め、定期的に管理、チェックしている。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-10 学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 実習時の安全対策に関して文書化し、学生に理解させたうえで、実習に参加させている。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-11 学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学校賠償責任保険、学生・生徒災害傷害保険に加入することで、学内外(通学・実習含む)での安全を担保している。

課題・解決方向 昨年より、【情報漏洩に対する賠償】も付加した内容に変更した。常にコストも鑑みつつ、保険の内容のリニューアルには情報入手の姿勢を持ち、時代に即した内容へと変更することも検討題と考える。

小項目 3-1-12 防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 保守点検業者を通じ確実に整備点検を実施。都度報告書を受領し、内容の精査を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 3-1-13 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 PC、複合機、コピー機、印刷機、10万円を超える固定資産は管理実施済み。ただし、机・椅子・10万円未満の備品の管理を推進中。

課題・解決方向 特になし

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

項目総括

卒業生の大半が関連病院に就職するため、関連病院の職員からの就職説明の場を提供しています。また進学者、他施設への就職相談も随時実施し、そのための相談窓口・施設設備も備えています。また経済的な教育環境の視点としては、希望者には病院奨学金貸与ならびに日本学生支援機構、各銀行等の紹介を入学前ほか随時行い、より良い学習環境作りの一助になるよう努めております。結果、経済的理由での退学者は0%を維持しています。

看護科通信課程の就職相談につきましては、職場推薦による入学のため積極的な支援は控えています。しかし学生からの卒業後就職先相談につきましては、随時募集パンフレットなどを基に、専任教員が相談面接を実施しています。また内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週実施している定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで外部に対して就職実績を公表しています。

評価・成績・資格・検定・出席状況・退学に関しても会議にて担当者から毎月の実施・結果・分析・方針等の報告があり専任教員間で共有を行っている。担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員で共有しています。

主な課題及び改善の方向性

キャリアデザインの達成度を含む卒業生の追跡調査を企業との連携のもと努めていきます。

また退学者の公表は現在していませんが、これにより学校の質担保の評価にもなりますので積極的に公表の方向を検討致します。

中項目 4-1 各学科の教育目標、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 4-1-1 学生の就職に関する目標を設定したか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 キックオフ資料(塾・学年)に記載し全教員が共通認識している。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-2 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 キックオフ資料(塾・学年)に記載し全教員が共通認識している。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-3 学生の就職活動に関する記録がなされているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生の就職活動に関して記録し、業務に必要となる教職員が閲覧できる状態にしている。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-4 学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生の就職結果に関して検証・報告を定期的に実施し、教職員で共有している。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-5 対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 パンフレット、HP等で就職実績を公表している。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-6 学生毎の記録簿が作成され、個々に対する能力(評価・成績)に対して目標を都度設定しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 キックオフ資料(学年)に記載し全教員が共通認識している。また、学年毎。個人ごとの月例報告が行われ、その都度目標及び指導方針・方法を明確にし全教員が共通認識を行ったうえで指導に当たっている。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-7 評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-8 評価表・成績表など客観的判断のできる記録がなされているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-9 評価・成績に関して検証・報告がされたか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-10 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-11 資格・検定・コンペに対する目標・計画が教職員に共有されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

・資格試験：看護師国家試験

・他試験：各学年で行われる全国模擬試験

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-12 資格・検定・コンペの結果に関して検証・報告がされたか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-13 資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-14 退学率の目標を設定しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-15 退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-16 退学結果に関して検証・報告されたか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 上記参照：上記一連内容

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-17 退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 退学者数は、学内から塾内関係者へ公表されている。外部へは、個人情報に関連するため公表を控えている。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-18 卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 卒業生の進路・就職状況が確実にシステムの中に入力されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-19 卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 卒業生の進路・就職状況は、個人が特定されない程度に公表されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 4-1-20 卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 就職先病院との情報交換により就業者の状況の把握ができる仕組みが確立されている。特に1年目の卒業生には、卒業後半年にコミュニケーションを図るための機会を設けている。

課題・解決方向 特になし

基準 5 学生支援

項目総括

本校への求人数(就職・進学)は、例年増加傾向にあります。本校では、看護師免許を取得することを目標に入学しているため、看護師免許取得への学生支援は、十分に行っています。

実績として、看護師国家試験合格率では、看護科 100%(全国平均約 90%台)通信課程 86.6%(通信課程全国平均 78.9%)、と高い合格率を保っています。通信課程では、看護師国家試験に不合格者については、次年度合格に向けてチューター制を図り、学習支援を行っています。卒業後は、専門職業人として就職する学生や新たな実践能力取得を目指し進学する学生もいます。

学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は各種奨学金について事務局を主に有効に稼働しています。学生の健康管理については、入学前に感染症抗体検査を行い、必要時ワクチン接種を実施し、臨地実習体制を整備しています。また、毎年健康診断を行っており、学校医の指示のもと予防措置等を行っています。

保護者との連携は、各学年の保護者会をベースとして、必要時三者面談も付加して、連携強化を図り、問題学生への早期対処を円滑に行い、退学率 0%の実績を上げています。

同窓会組織「芙蓉会」「桔梗の会」より郵送による定期的な情報提供を実施しています。(2 年に 1 回総会開催)

主な課題及び改善の方向性

保護者へは学校の指導方針など、保護者会を利用して伝えていますが、現在のところ保護者会(後援会等)の組織化までは至っていません。

平成 25 年度に「保護者会」の設立について、在学生の保護者に意見を聴収しました。保護者からは、保護者会の設立を希望する意見はなく、まずは保護者間が意見交換できる機会を設けてほしいとの要望がありました。平成 26 年度では、保護者会で任意的に保護者間が意見交換が行える機会を設けましたが参加者はありませんでした。平成 27 年度では、保護者が集まりやすい雰囲気作りを行っていくことから始めていきます。そのうえで会を設置するかどうかを判断する予定です。

中項目 5-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)

■自己点検・評価結果：適合

小項目 5-1-1 学校案内等には育成人材像が明示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生要覧、パンフレットなどに育成する学生像が記されている(教育理念)。学生、教員は育成人材像を理解している。教員は、育成人材像を意識した指導が行えている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-2 学校案内等には目指す資格・検定・コンペ等が明示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 看護師国家試験資格取得に関する内容が学生要覧、パンフレットなどに記されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-3 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生要覧、パンフレットなどに上記が記載されている。教職員は、前記の所在を周知している。全教職員は、学費・教材等に関する内容を説明することができる。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-4 学校案内には選抜方法が明示されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 募集要項に入学試験の選考方法が明示されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-5 入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制がある。事務職員全員が対応できる(看護科・通信課程入学)。専任教員全員(看護科・通信課程入学)は、それぞれの科・課の対応が可能である。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-6 学校説明会等による情報提供(上記 5-1-1 から 5-1-4)を行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 育成人材像、目指す資格、学費、選考方法について、学校説明会で情報提供している。これらに関して全教員が実施できる。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-7 入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 入学予定者へ学習指導・支援が実施されている。または、入学後必要とされる内容の課題を作成し配布する。入学前の保護者会及び入学前ガイダンスを実施している

課題・解決方向 特になし

小項目 5-1-8 入学予定者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 入学事前説明会を通じて、寮生活・学校生活について、また学習支援体制についてのオリエンテーションを実施している。また、入学後にもオリエンテーションの時間を設け説明と同意に取り組んでいる。

課題・解決方向 特になし

=====
中項目 5-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■自己点検・評価結果：適合

小項目 5-2-9 担任による面談が定期的に行われているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 前期・後期の担任面接且つ随時、担任による面接が行われている。面接の結果が教員間で共有されている。看護科通信課程では、担当教員が学生の相談に当たっている。”

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-10 キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 キャリアサポート関連の有資格者は、必要な場合に法人の本部から招いている。しかし、看護科卒業生のほとんどが、実習病院へ就職する。通信課程では、職場推薦による入学のため、就職自体が想定されていない。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-11 担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 臨床心理士による相談室設置あり、学校カウンセリングとして機能している。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-12 学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 基本的に担任・学生担当者が窓口となり学生の相談に応じている。相談結果は、看護科・通信課程の主任へ報告・相談する体制が整備されている。難事例に関しましては、看護科・通信課程の主任がこれに当たる。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-13 学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生との面接や行動及び指導の結果の記録がある。また、全教員共有できる。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-14 学生の面談・相談記録があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学生の記録を作成し、管理者及びスタッフが閲覧し、指導できる状況にしている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-15 定期的に健康診断を行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 入学後・進級後に健康診断を行なっている。結果は、校医へ提出し指示を受け健康診断の結果の対応を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-16 奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 奨学金支援制度等の経済的支援がある。看護科は、関連病院からの奨学金制度があり、入学前・後に説明を行っている。通信課程では、就職先の病院からの奨学金制度あり。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-2-17 保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 保護者との計画的な相談会・面談を行っている

課題・解決方向 特になし

中項目 5-3

各学科の教育目標、育人人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■自己点検・評価結果：適合

小項目 5-3-18 卒業生の会(同窓会等)はあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 「桔梗の会」「芙蓉会」として活動している。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-3-19 卒業生への職業紹介をしているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 校友会の再就職斡旋希望者向けに、Webサイトを使用して求人紹介を実施している。

課題・解決方向 学生募集とも関連する視点から、各施設側にも積極的アナウンスが課題と考える。

小項目 5-3-20 卒業生への講習・研修を行っているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 校友会組織が講習・研修を実施している。

課題・解決方向 母体病院側の研修室を鑑みつつ、今後はリカレント教育内容・方法・教材・人的資源などが課題と考える。

小項目 5-3-21 卒業生の就業先への定期的な訪問をしているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 母体病院側から新入職員の動向については、定期的に情報入手とともに情報交換が来ている。経年的な動向については、同窓会名簿で毎年8月に確認が来ている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-3-22 学校情報を卒業生に知らせているか。(HP、学生便り等)

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 年に2回、総会がある年は3回、学校通信を卒業生に配布している。WEB サイトおよび facebook でも定期的に知らせている。

課題・解決方向 特になし

中項目 5-4 上記以外を通じての学生支援

■自己点検・評価結果：適合

小項目 5-4-23 保護者の会(後援会等)はあるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 一部の保護者からは、「会」を立ち上げることより、保護者間での話し合いの機会を持ちたいとの要望有。26年度、2年生、3年生の保護者会にて「保護者間での話し合い」の場を設けた。結果、話し合う保護者はいなかった。

課題・解決方向 保護者会案内書に「保護者間での話し合い」について明記する。保護者会場に話し合いの場所を説明する。話し合いが進むまでは、教員が話し合いの進捗を支援する。・教員と保護者が日頃から連携を取り合い協力して学生の育成を目指す。

小項目 5-4-24 企業の会(就職後援会等)はあるか。

■自己点検・評価結果:※該当しない

現状・取組状況 本校卒業生は、1 関連施設に 90%以上が就職するため、当項目は該当しない。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-4-25 学校情報を保護者に書面で知らせているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学校情報は、ホームページにて一般公表している。内容に関しては、学生を通じて保護者へ伝えている。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-4-26 学校情報を高等学校等に書面で知らせているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学生の資格取得、就職情報を書面にして適宜訪問し、報告している。定期的な情報誌発行発信はない。

課題・解決方向 特になし

小項目 5-4-27 学校情報を企業等に書面で知らせているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 学校情報は、電子メールや実習病院の会議等で伝えている。学校情報は、常に実習病院と情報交換が行える体制が整っている。

課題・解決方向 特になし

=====

基準 6 社会的活動

=====

項目総括

教員は、教育ノウハウを活用した実習指導者講習会・専任教員研修会へ講師として派遣する行政との連携が整備されています。また看護学校協議会理事会との連携のもと、各ブロック活動も定例化し教育の質向上に貢献しています。

国内外からの教育施設見学なども受け入れ、積極的に社会貢献を進めています。

学生のボランティア活動は、病院側および地域との連携のもと、毎年各学年へ引き継がれるという常設ボランティア活動が根付いています。

主な課題及び改善の方向性

地域貢献を目的とした公開講座は今後も積極的に実施して参ります。

=====

中項目 6-1 意図的・計画的・組織的に社会活動への取組みが推進されているか

■自己点検・評価結果：**適合**

小項目 6-1-1 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施している。目標に掲げるボランティアポイント数に達しない場合は、目標達成するよう指導が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 6-1-2 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしている

* 専門学校協議会、日本看護連盟、日本看護協会等。

課題・解決方向 特になし

小項目 6-1-3 上記において定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 上記において定期的な会合に参加し、報告書の提示がある。参加内容は、学生指導・講義において活用されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 6-1-4 教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 教育資源(施設・設備の開放・教職員の出張講座等)を地域社会に提供している。

課題・解決方向 特になし

小項目 6-1-5 社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 社会活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価基準に評価を行っている。

課題・解決方向 特になし

小項目 6-1-6 地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 地域に向けて公開講座を行なっている。

課題・解決方向 特になし

基準 7 管理運営

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの遵守徹底に努めています。

学校運営に関しては、保健師助産師看護師学校養成所指定規則、ならびに看護師養成所の運営に関する指導要領、手引きに基づいた運営であり、県指導調査における指導事項においても迅速且つ正当な対応を遵守しており、極めて健全なる運営であると判断する。

平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。

事務職員および通信課程の専任教員は、麻生塾の人事考課に準じ、看護科の専任教員は、関連病院の人事考課に準じています。

主な課題及び改善の方向性

「危機管理」に関して、様々な状況において迅速かつ適切な対応ができるよう周知徹底を行います。
職務分掌のさらなる整備と、人事異動等発生時の迅速な業務の再編成や対応が可能となるよう改善を行います。

中項目 7-1 学校の管理・運営体制が確立しているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 7-1-1 理事会が定期的に開催されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 定例理事会を開催しており、事業計画、予算決算その他法人業務の重要な決定事項は理事会にて決定している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-2 評議員会が定期的に開催されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 理事会同様、定例の評議員会を開催し、法人の業務のうち、重要な決定事項の諮問、意見具申の場としている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-3 理事会・評議員会の議事録は公開されているか。

■自己点検・評価結果：不適合

現状・取組状況 理事会・評議員会の議事録は公開されていない。

課題・解決方向 理事会・評議員会議事録の公開の予定はない。

小項目 7-1-4 運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 運営会議は定期的に開催されており、学校運営に関する諸々の事項を決定している。議事録がある。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-5 組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 麻生塾の構成員の職務分掌が文書化されており、各人はそれぞれの職務内容を認識している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-6 決裁規程が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 稟議事項については、稟議規定のその範囲及び起案、申達、決裁の手続きが定められており、規定に則って運営されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-7 人事規程が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 賃金制度(就業規則)は文書化されている。

課題・解決方向 一部の教職員が常時閲覧できない。

小項目 7-1-8 人事考課制度は文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 新入材マネジメント制度は文書化されており、常時教職員が閲覧できる。

課題・解決方向 新入社員に説明が出来ていない。

小項目 7-1-9 昇進・昇格制度は文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 昇進・昇格制度は文書化されている。

課題・解決方向 常勤教職員が常時閲覧できる状況にない。

小項目 7-1-10 賃金制度は文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 賃金制度(給与規程)は文書化されている。

課題・解決方向 一部の教職員が常時閲覧できない。

小項目 7-1-11 採用制度は文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 採用制度は文書化されている。

課題・解決方向 常勤教職員が常時閲覧できる状況にはない。

小項目 7-1-12 防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 防災・防犯対策については各事業所に「危機管理マニュアル」及び「緊急連絡網」が作成・設置されており、教職員は全員内容を周知している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-13 防災・防犯・非常時対策に対して組織化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 「危機管理マニュアル」に組織化の規定があり、教職員は自分の役割を認識している。「緊急連絡網」が作成され周知されている。「避難訓練」を年 1 回実施している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-14 定期的に防災訓練を実施しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 定期的(1 回/年)に消火訓練、避難訓練等を実施している

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-15 個人情報保護規程が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 個人情報保護規程が文書化されて閲覧可能な状態となっている。教職員は全員内容を周知しており、規定に沿った行動が行えている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-16 ハラスメントに関する規定が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 ハラスメントに関する規程が文書化され、相談窓口も明確化されており、教職員は全員内容を周知している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-17 公印管理簿があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 理事長印、校長印等の捺印管理簿があり、捺印した文書名は全て記録されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-18 出退勤管理簿があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 教職員全ての出勤簿があり管理されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-19 受信・発信簿があるか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 受信・発信簿はないが、文書は適切に取扱のうえファイリングされている。メールは受信・発信ともデータで管理・保存されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-20 SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学校の管理運営組織が目標を達成に向けて充分機能するよう、本部作成の事務職員の資質向上のための研修計画があり、実施している。教員については専門分野に基づいた研修計画があり実施している。

課題・解決方向 特になし

小項目 7-1-21 教職員の健康診断がされているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 必要な項目が全て網羅されている健康診断が毎年 1 回実施されている。常勤教職員は全員受診しており結果のフィードバックもなされている。

課題・解決方向 特になし

=====

基準 8 財務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、四半期ごとに経営会議に報告しています。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理をおこなっています。その上で各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い正しい会計処理・運営に関して指導をおこなっています。外部監査も毎年受け承認を受けています。

主な課題及び改善の方向性

固定資産の管理について少額資産について既存資産の確認、資産(備品)の学内及び学校間移動により実態把握が困難となる場合があります。移動ルールの作成及び資産の既存試算の把握の為の管理方法として固定資産管理規程の作成及びバーコード管理等の検討が急務として既に実施に入っています。

中項目 8-1 財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか

■自己点検・評価結果：適合

小項目 8-1-1 年度予算、中期計画が策定されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 年度予算が策定され適切に管理運営されている。中期計画も策定され実施に向けて計画・準備がなされている。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-2 予算は計画に従って妥当に執行され定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 月次予算が作成され、毎月の実績確認と管理・改善が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-3 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 学校法人がその公共性を担保するために、会計士監査と監事による監査体制を敷いて適切に運営している。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-4 会計監査の結果報告が文書等にて明確化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 毎年度公認会計士による監査を受け、監査報告書による監査結果を得ている。なお 26 年度の問題点、課題の指摘は受けていない。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-5 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 財産目録、事業報告書については利害関係者は閲覧することが可能な体制となっている。監査報告書、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書は HP 上で公開している。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-6 固定資産管理規程が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-7 図書管理規程(養成施設等)が文書化されているか。

■自己点検・評価結果：適合

現状・取組状況 図書管理規程は文書化されて学生要覧に記載されており、規程どおり運用されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-8 物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 事務用品、消耗品の在庫管理は担当者の元で毎月適切に管理されており、補充体制も完備している。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-9 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 施設設備の保守・管理は、有資格者による法定項目の点検が定期的に行なわれて記録が整理されている。不適合があれば改善する体制がある。

課題・解決方向 特になし

小項目 8-1-10 物品購入等における複数業者からの確認がされているか。

■自己点検・評価結果:適合

現状・取組状況 物品購入の際は、複数の業者から見積りを頂き、適切な物品と廉価の提案があった取引先への発注を原則としている。

課題・解決方向 特になし

=====
基準 9 改革・改善
 =====

項目総括

自己点検・評価委員会が組織されており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ等で共有する機会を設けています。

主な課題及び改善の方向性

特記事項なし

=====
中項目 9-1 各学科の教育目標、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■自己点検・評価結果：**適合**

=====
小項目 9-1-1 自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 自己点検・評価項目一覧表に「めざすべき目標像」が明確になっており、レベルを評価できる状態となっている。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-2 自己点検・評価の組織があるか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 自己点検・評価活動を動かす委員会が組織され、各職場で委員が中心となり、自己点検評価活動が行われている。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-3 評価・改善を行うための組織があるか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信され、教職員が理解を深めている。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-4 自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 定期的に自己点検・評価活動の意義や必要性について発信され、教職員が理解を深めている。改善活動に取り組んでいる。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-5 自己点検・評価の結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 毎年定期的に自己点検・評価が行われ、改善計画が作成され、実行されている。改善状況については、内部監査にて検証されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-6 自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 毎年、自己点検・評価が行われ、評価結果が文書化されている。更に内部監査が行われ、その結果についても文書化されている。

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-7 自己点検・評価報告書があるか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 委員会により評価結果が文書化されている

課題・解決方向 特になし

小項目 9-1-8 自己点検・評価報告書が公開されているか。

■自己点検・評価結果：**適合**

現状・取組状況 自己点検・評価の結果を公表できる体制が整っている。

課題・解決方向 特になし

平成 25 年度

専門学校 麻生看護大学校
自己点検・評価報告書

目次

自己点検・評価報告書	3
【基準 1 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標】	4
【基準 2 教育の内容】	5～8
【基準 3 教育の実施体制】	8・9
【基準 4 教育目標の達成度と教育効果】	10・11
【基準 5 学生支援】	12～14
【基準 6 社会的活動】	14・15
【基準 7 管理運営】	15・16
【基準 8 財務】	17
【基準 9 改革・改善】	18

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は、専門学校麻生看護大学校の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

平成26年4月30日

校長

松山 博之

校長代行

百瀬 栄美子

自己点検・評価責任者

光武 和寿

基準 1. 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標 自己点検・評価項目	
<p>教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像が、明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)しているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでいるか。</p>	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>教育理念は開校当初より明文化され教職員に周知されている。</p> <p>・校訓 「無私」</p> <p>・教育方針 「専門性を高め、かつ人間性・人格の成長を図ります」</p> <p>・教育理念 「専門職としての看護に必要な、知識・技術・態度・をそなえた看護実践者を育成することを目的としている。」</p> <p>保健師助産師看護師法の指定規則に基づき、教育目的、育成人材像は学科ごとに明確に定められており、学生要覧等で周知しています。実現するための具体的な計画・方法をカリキュラムやシラバスとして定めており、時代の変化に対応した内容となるように見直しも行っていきます。</p> <p>学校の特色については総合パンフレットやホームページで広く公表しています。学校運営方針や事業計画は事業計画書で定めており、毎月の責任者会議で進捗を確認しています。</p>	<p>特記事項なし</p>

点検項目	適・否	現状と課題
1-1 【学内】学生などに対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	適	学生要覧を配布し周知徹底している
1-2 【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	適	理念集を配布し周知徹底している
1-3 【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	適	HP、パンフレットで公表している
1-4 【学内】各修業期間における教育目的・目標が明文化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	適	学生要覧で周知徹底している
1-5 【学外】各修業期間における教育目的・目標が明文化され、教育計画が文書化され、提示されているか。	適	HP、パンフレットで明文化し提示している

基準 2. 教育の内容 自己点検・評価項目	
<p>各学科の教育目標、育成人材像に向け</p> <p>カリキュラムの作成などの取り組みをしているか。</p> <p>教授学習プロセスの改善への取り組みをしているか。</p> <p>業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか。</p> <p>教員の資質維持や向上に向けた取り組みをしているか。</p>	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>教育目標や人材育成像は保健師助産師看護師法の指定規則に基づき、医療や看護実践の現状及び社会のニーズを踏まえて各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。</p> <p>また、カリキュラム作成においては、保健師助産師看護師法の指定規則に基づく専任教員から構成され、毎週カリキュラム検討会を継続しています。ここでは、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得て、且つ企業側(病院)の教育委員会や臨床指導者委員会等の示唆を得て作成編成を行っています。</p> <p>看護科においては、保健師助産師看護師法指定規則の教育時間のほかに、教育外活動を3年間で 183 時間設定しており、本学が目指す教育目標到達や実践者育成に努めています。</p> <p>カリキュラムは、体系的に編成されており、各科目間のつながりも適正です。科目ごとのシラバスも作成されており講義前に学生に配布し、到達目標・評価・参考資料等を説明しています。</p> <p>授業評価は教師アンケートを実施しており、結果をフィードバックすることにより授業の改善に繋げています。</p> <p>教員については、保健師助産師看護師法の指定規則が定める要件を満たしており、学科の育成目標に向けた講義を行うことができます。専任教員の人材開発システムに基づきスキルの向上を図っています。</p> <p>成績評価・単位認定は明確に定められており学生要覧で周知しています。</p> <p>資格取得については一部の学科を除き、各学科で明確に定められており、一定の資格取得が卒業要件になっています。</p>	<p>今後も広報担当を中心に高校側からの情報収集・分析をもとに、教育内容はもとより、特に多様な学生を受け入れる現在においては、教育方法のあり方が要検討と考えています。</p> <p>現状のリメディアル(導入前教育、補習)教育のあり方を検討し、専門職者としての動機付けに加え、社会人基礎力の強化も図っていくことに努めます。</p> <p>業界ニーズのリリースも体系化しつつ、学校・病院側との連携強化を今以上に図るよう努めます。他の高等教育機関との連携講座等は今後の検討課題として推進して参ります。</p> <p>平成 25 年度は、教育課程編成委員会をもとに外部の有識者も交えて実施いたしました。委員会での意見は、現行カリキュラムの評価と受け止め、検討材料としております。平成 26 年度 4 月には、今年度第 1 回目の委員会を実施しました。</p>

点検項目	適・否	現状と課題
2-1-1 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが明文化されているか。	適	学生要覧に記載している

2-1-2	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員等)	適	カリキュラム検討会で評価・修正・作成を行っている。メンバーは、保健師助産師看護師法の指定規則に基づく複数の専任教員で構成している。
2-1-3	カリキュラム作成メンバーの中に、高校の現状や社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れているか。	適	広報課職員を入れて、高校関係者のヒアリング情報を基に作成している。
2-1-4	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているか。またその意見を取り入れているか。	適	平成 25 年度は、近隣高校の教諭も交えた委員会を実施した。カリキュラム評価として、卒後教育のベースとなる基礎教育のカリキュラム周知の視点から提言を請うことが出来た。 企業(病院)の教育委員会・臨床指導者委員会からの評価も反映している。加えて作成に当たっては、専門分野に精通する有力者の助言や専門誌などから考え方を得ながら、作成・編成を行っている。
2-1-5	シラバスあるいは講義要項等が作成されているか。	適	作成し学生に公開している。
2-1-6	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか。	適	作成している。
2-1-7	各教員からカリキュラム・シラバスが提出され、取りまとめられているか。	適	取りまとめている。
2-1-8	シラバスあるいは講義要項等が事前に学生に配布されているか。	適	配布している。
2-2-9	学生によるアンケート等による授業評価が定期的に行われているか。	適	ミニアンケート、教師アンケート(各年 2 回実施)を行っている。
2-2-10	結果に基づく教員面接を実施しているか。	適	学科長による個別面談を実施している。
2-2-11	結果に基づく研修を実施しているか。	適	授業見学を実施している。結果に基づき体系的な研修を実施している。
2-2-12	結果に基づく授業観察を実施しているか。	適	主任が演習等の参加を行って確認している。
2-2-13	結果に基づく教員のレポート報告書、改善計画書等が作成されているか。	適	随時、評価が望ましくない教員に対しては、面接指導を入れ、改善策を検討している。
2-2-14	その評価結果をもとに改善活動をしているか。	適	実施している。

2-2-15	授業改善のための組織的取り組みが行われているか。(授業改善委員会(FD)等)	適	実施している。
2-3-16	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか。	適	カリキュラム内の臨地実習(1035 時間)のみ実施している。
2-3-17	キャリア教育などを行っているか。	適	カリキュラム内外を通して、ポートフォリオ等を活用し実施している。
2-3-18	ビジネス教育などを行っているか。	適	マナー研修・独自カリキュラム(GCB)を実施している。
2-3-19	コミュニケーション能力の向上に向けた取り組みを行っているか。	適	コミュニケーション検定を実施した結果、本校学生の強化点が判明した。加えて医療現場を鑑みて、三角ロジックでのコミュニケーション指導を日々の学生指導場面で強化している。
2-3-20	リメディアル(導入前教育、補習)教育を行っているか。	適	入学予定者に対し、事前課題を与えている。補習は必要に応じ適宜実施している
2-3-21	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか。	否	連携講座は実施していない。
2-3-22	企業・地域・行政との連携を図っているか。	適	卒業生や関連施設、実習病院の職員対象に講義聴講を行っている。又実習病院の各委員会に属し教育連携を計画的に行っている。研究については高校側の卒業研究指導を実施している。 企業・地域・行政との連携として、企業の会議や委員会の参加や行政からの申し出にも積極的に応じている。
2-4-23	教職員の研修計画が作成されているか。	適	計画を作成し、これに基づき実施している。
2-4-24	専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のための内部研修・研究を実施しているか。	適	専任教員での定期的学習会を実施。所属長による面接も実施している。
2-4-25	専門性や指導力等の維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	適	公費にて専任教員は、1回/年の学会・研修に参加している。 実習指導者講習会の講師、専任教員研修の講師、看護研究発表会座長などへ派遣している。
2-4-26	専門性や指導力等の維持や向上のための自己啓発への時間的・財政的な支援をしているか。	適	公費にて専任教員は、1回/年の学会・研修に参加している。 福岡市内での研修は年休許可、他研修日6日間の支援を行っている。

2-4-27	非常勤講師との定期的な情報共有を図っているか。 (ミーティング、報告書、教務日誌等)	適	講師会議(年1回)、非常勤講師とは、直接情報共有している。常勤報告書及び教科担当部会にて実施している。
--------	---	---	---

様式 6—自己点検基準 3

基準 3. 教育の実施体制 自己点検・評価項目	
各学科の教育目標、育成人材に向けて教育環境が整備・活用されているか。	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>教育環境については教育目標の達成や人材育成がスムーズに行われるように教職員を組織化しており、キックオフ会議資料に掲載しています。学校の年間スケジュールに関しては年間チーム表を作成し教職員・非常勤講師・学生に配布し周知しています。教育環境においては、保健師助産師看護師法の指定規則に基づき環境設備を行っています。</p> <p>中でも図書環境は両科の図書担当教員・学生図書委員により年次計画のもと、学生の書籍数・内容につきましては、学習環境の整備に万全を期しています。</p> <p>学内外の安全対策に関しては防災・防犯設備の点検や避難経路の掲示や避難訓練を行い、且つ学校生活における行事や臨地実習先での事故・寮生活における災害に対しては学校保険に加入し、万全の体制で臨んでいます。</p> <p>防災につきましては、年に一度全教職員・学生の訓練に加え、3年生は病院主催の大災害訓練、1、2年生は防火訓練に学生全員が臨み、防災意識を高めるべく実体験を通して学びを深めています。</p>	<p>喫煙・禁煙について</p> <p>看護科では、18歳から19歳の学生が在籍しているため校内を禁煙としています。20歳以上の学生においては、禁煙が健康を支援する者として当然の姿勢であることの指導を行っております。</p> <p>喫煙・禁煙に関する課題</p> <p>看護科においては、「寮規程」以外には禁煙の明示化がありません。校舎内には、禁煙の表示がありません。対策として、学生要覧の追記資料として直ちに学生に提示するとともに、校舎内にも掲示いたします。</p> <p>通信課程では、健康を支援する者の姿勢として禁煙を推奨しています。学生要覧においても校内及び学校周辺での禁煙を文書化しています。</p>

点検項目		適・否	現状と課題
3-1	組織機能図はあるか。	適	キックオフ会議資料に記載している。
3-2	学校の年間スケジュールはあるか。	適	チーム表に年間スケジュールを記載している。
3-3	図書室・図書コーナーはあるか。	適	設置している。

3-4	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか。	適	設置している。
3-5	就職支援を行う指定された場所はあるか。	適	相談室を2部屋設置し、稼動している
3-6	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	適	別館教室では明示している。看護科は、寮生活規程に掲載している。通信課程は学生要覧に明示している。
3-7	環境エコ活動(節電・ゴミ分別・節水)に関する規定が文書化されているか。	適	該当する場所に文書化し掲示している。
3-8	学内の整理・整頓・清掃に関してルール等が文書化されているか。	適	掲示している。1回/年に文書に従い点検を実施している。
3-9	学内の整理・整頓・清掃に関し定期的に管理チェックがされているか。	適	マナー委員会によるチェックシートで運用している。
3-10	学内外実習時の安全対策に関して文書化されているか。	適	学生要覧・実習要覧に記載している。
3-11	学校生活(実習・行事・学外活動等)において保険に加入しているか。	適	日本看護学校協議会共済会総合保障制度に加入している。
3-12	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	適	6ヶ月ごとに専門業者が点検し、1回/年教職員・学生含めて防災訓練を行っている。
3-13	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	適	備品点検リスト・表により管理・点検を1回/年実施している。備品は、保健師助産師看護師法の指定規則に基づいて設置している。

基準 4. 教育目標の達成度と教育効果 自己点検・評価項目

各学科の教育目標、育成人材に向けてその達成への取り組みと評価がされているか。

項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>卒業生の大半が関連病院に就職するため、関連病院の職員からの就職説明の場を提供しています。また進学者、他施設への就職相談も随時実施し、そのための相談窓口・施設設備も備えています。</p> <p>経済的な教育環境の視点としては、希望者には病院奨学金貸与ならびに日本学生支援機構、各銀行等の紹介を入学前他随時行い、より良い学習環境作りの一助になるよう努めております。結果、経済的理由での退学者は0%を維持しています。</p> <p>看護科通信課程の就職相談につきましては、職場推薦による入学のため積極的な支援は控えています。しかし学生からの卒業後就職先相談につきましては、随時募集パンフレットなどを基に、専任教員が相談面接を実施しています。また内定状況や学生の内定先など就職の動きが教職員で共有できるシステムを作成し、データの管理を行っています。</p> <p>就職担当と担当教員で毎週実施している定例会議やミーティングで、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。外部に対しては学校のパンフレット・HP・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで就職実績を公表しています。</p> <p>評価・成績・資格・出席状況・退学に関しても会議にて担当者から毎月の実施・結果・分析・方針等の報告があり専任教員間で共有を行っています。担当者会議を設け目標設定を行い、結果や結果に対する検証を文書化し記録すると共に教務会議などで教職員で共有しています。</p>	<p>キャリアデザインの達成度を含む卒業生の追跡調査を、企業との連携のもと努めていきます。</p> <p>また退学者がほとんどいないため、現在公表は行っていないですが、これが学校の質担保の評価にもなりますので積極的に公表の方向へ検討しています。</p>

点検項目	適・否	現状と課題
4-1 学生の就職に関する目標を設定したか。	適	毎年設定し事業計画書に記載している。
4-2 学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。	適	3月のキックオフ会議にて全教職員で共有している。
4-3 学生の就職活動に関する記録がなされているか。	適	担任が教務手帳に細かく記録している。また麻生塾システムのサーバで保管している。

4-4	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか。	適	教務会議や運営会議、就職推進会議で検証・報告している。
4-5	対外部に向けた就職実績を公表しているか。(パンフレット・HP等)	適	パンフレット・HPにて公表している。
4-6	評価・成績に関する目標を設定したか。	適	設定して事業計画書に記載している。
4-7	評価・成績に関する目標に対して教職員に共有されているか。	適	教務会議や運営会議、キックオフ会議で共有している。
4-8	評価・成績に関する記録がなされているか。	適	毎月教務会議で報告し、麻生塾システムでサーバに保管している。
4-9	評価・成績に関して検証・報告がされたか。	適	成績評価表を作成後、教務会議にて報告・検証している。個別にガイダンスを実施している。
4-10	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか。	適	年度開始前の3月に設定している。
4-11	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか。	適	教務会議および運営会議で共有している。キックオフ会議で全教職員と共有している。
4-12	資格・検定・コンペに関して検証・報告がされたか。	適	国家試験結果報告書で報告・検証し、次回への改善の取り組みを明確化している。
4-13	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか。	適	HP およびパンフレットで公表している。
4-14	退学率の目標を設定しているか。	適	年度開始前の3月に設定し、キックオフ会議で全教職員と共有している。
4-15	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか。	適	アクションプランを作成し、教務会議および運営会議で共有している。
4-16	退学結果に関して検証・報告されたか。	適	毎月の教務会議にて検証・報告して改善を図っている
4-17	退学者数を公表しているか。	要改善	公表に向けて検討中(通信課程)。
4-18	卒業生(同窓生)の進路・就職先等の記録がなされているか。	適	学校システム(麻生塾システム)にて記録を保管している。
4-19	卒業生(同窓生)の進路・就職先等を公表しているか。	適	就職・募集用パンフレット、HP等で公表している。
4-20	卒業生(同窓生)の1年後の就職状況を把握しているか。	適	就職先との懇談会で把握している。

基準 5. 学生支援 自己点検・評価項目

1. 各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)
2. 各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)
3. 各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)
4. 上記以外を通じての学生支援

項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>本校への求人数(就職・進学)は、例年増加傾向にあります。本校では、看護師免許を取得することを目標に入学しているため、看護師免許取得への学生支援は、十分に行っています。</p> <p>実績として、第 103 回看護師国家試験合格率では、看護科 100%(全国平均 89.8% *前半のみ)、通信課程 82.9%(通信課程全国平均 79.2% *新卒者のみ)と全国的にも高い合格率を保っています。</p> <p>通信課程では、看護師国家試験に不合格者については、次年度合格に向けてチューター制を図り、学習支援を行っています。卒業後は、専門職業人として就職する学生や新たな実践能力取得を目指し進学する学生もいます。</p> <p>学生相談に関してはカウンセラーが相談に応じます。学生の経済的な支援は各種奨学金について事務局を主に有効に稼働しています。学生の健康管理については、入学前に感染症抗体検査を行い、必要時にワクチン接種を実施し、臨地実習体制を整備しています。また、毎年健康診断を行っており、学校医の指示のもと予防措置等を図っています。</p> <p>保護者との連携は、各学年の保護者会をベースとして、必要時には三者面談を実施して連携強化を図り、問題のある学生への早期対処を円滑に行い、退学率 0%の実績を上げています。</p> <p>同窓会組織「芙蓉会」「桔梗の会」より郵送による定期的な情報提供を実施しています。(2年に1回総会開催)</p>	<p>保護者へは学校の指導方針など、保護者会を利用して伝えていますが、後援会等の組織化までは至っていません。</p> <p>平成 25 年度の保護者会においては、保護者の要望を確認し、組織化を検討しました。その結果、保護者の組織化より、まずは保護者間の交流を求める意見をいただきました。</p> <p>今後はこれらの意見を取り入れ、平成 26 年度の 2、3年生の保護者会から、保護者会終了後に保護者間での交流の時間を設ける予定です。</p> <p>看護科の全卒業生は、進学または関連病院への就職であるため、キャリアサポート関連の有資格者に関しては不必要と判断しています。</p>

点検項目	適・否	現状と課題
5-1-1 学校案内等には育成人材像が明示されているか。	適	学生要覧および募集用パンフレットに記載している。
5-1-2 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。	適	学生要覧および募集用パンフレットに記載している。

5-1-3	学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	適	募集要項に記載している。
5-1-4	学校案内には選抜方法が明示されているか。	適	募集要項に記載している。
5-1-5	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	適	事務局にて常時対応している。
5-1-6	学校説明会等による情報提供(上記 5-1-1 から 5-1-4)を行っているか。	適	入試説明、オープンキャンパス、入学前説明会、保護者会、学校説明会、授業見学会等で情報提供を行っている。
5-1-7	入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	適	入学前説明会で入学前の課題提示を行っている。
5-1-8	入学予定者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	適	入学前説明会で行っている。
5-2-9	担任による面談が定期的に行われているか。	適	定期および随時必要に応じて面談を行っている。ガイダンス記録表にて記録している。
5-2-10	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか。	否	通信課程: 全員推薦入学のため不必要と判断している。 看護科: 全卒業生は、進学または、関連病院への就職のため不必要と判断している。
5-2-11	担任以外に学生の健康管理・メンタルヘルスについて相談できる担当者がいるか。	適	校長・校医、その他専門職者(臨床心理士)が行っている。
5-2-12	学生指導に関する教職員の相談に応じる相談窓口が周知されているか。	適	教務会議・カンファレンスにて周知徹底している。
5-2-13	学生指導に関する教職員の相談に応じる体制があるか。	適	校長代行・主任、スクールカウンセラー等が相談に応じている。
5-2-14	学生の面談・相談記録があるか。	適	面談記録として保管している。
5-2-15	定期的に健康診断を行っているか。	適	年1回実施している。
5-2-16	奨学金制度等の経済的支援があるか。	適	日本学生支援機構の認定を受けて経済的支援をしている。
5-2-17	保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	適	保護者会を毎年1回開催している。三者面談は適宜実施している。
5-3-18	卒業生の会(同窓会等)はあるか。	適	桔梗の会・芙蓉会として組織化している。
5-3-19	卒業生への職業紹介をしているか。	適	校長代行が行っている。校内にパンフレットを設置している。

5-3-20	卒業生への講習・研修を行っているか。	適	臨床指導者学習会を実施している。
5-3-21	卒業生への就職先への定期的な訪問をしているか。	適	専任教員および校長代行が訪問している。
5-3-22	学校情報を卒業生に知らせているか。(HP, 学生便り等)	適	HPにて知らせている。関連病院や同窓会組織でも行っている。
5-4-23	保護者の会(後援会等)はあるか。	要改善	今後検討していく。
5-4-24	企業の会(就職後援会等)はあるか。	要改善	必要性を検討中。
5-4-25	学校情報を保護者に知らせているか。(HP, 学校便り等)	適	保護者会およびホームページで知らせている。
5-4-26	学校情報を高等学校等に知らせているか。(学校便り, DVD 等)	適	学校パンフレットおよびキャンパス通信で知らせている。
5-4-27	学校情報を企業等に知らせているか。(学校便り, DVD 等)	適	ポスターおよびキャンパス通信で知らせている。

様式 9—自己点検基準 6

基準 6. 社会的活動 自己点検・評価項目	
意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>教員は、教育ノウハウを活用した実習指導者講習会・専任教員研修会へ講師として派遣する行政との連携が整備されています。また看護学校協議会理事会との連携のもと、各ブロック活動も定例化のもと教育の質向上に貢献しています。また国内外からの教育施設見学なども受け入れ、積極的に社会貢献を進めています。</p> <p>学生のボランティア活動は、病院側および地域との連携のもと、毎年各学年へ引き継がれるという常設ボランティア活動が根付いています。</p> <p>また、高校生や大学生向けの仕事内容紹介イベント「お仕事スタジアム」を毎年無料で開催し、例年数千名の方に参加をいただいています。</p>	<p>地域貢献を目的とした公開講座は今後積極的に実施して参ります。</p> <p>平成 25 年度、地域住民を模擬患者として招き学内演習の協力をしていただきました。今後も教育効果と地域住民への貢献をねらいとして模擬患者依頼を続けて参ります。</p>

点検項目		適・否	現状と課題
6-1	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を実施しているか。	適	地域からの要望に応じた活動を実践している。
6-2	地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟しているか。	適	日本看護学校協議会、北九州専任教員協議会、全国通信制看護学校協議会に加盟している。
6-3	上記において定期的な会合に参加しているか。	適	年2回の意見交換会に各会へ定期的に参加している。
6-4	教育資源(施設・設備の関係・教職員の出張講座等)を地域社会に提供しているか。	適	施設提供、講師として専任教員の派遣 民生委員団体の勉強会に講師として教員を派遣している。
6-5	社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を評価・単位認定しているか。	否	自主的な活動であり、ボランティアとして推奨している。評価・単位認定はしていない。
6-6	地域貢献を目的とした公開講座等を実施しているか。	適	実習病院職員対象の公開講座を実施している。

様式10—自己点検基準7

基準7. 管理運営 自己点検・評価項目	
学校の管理・運営体制が確立しているかどうか	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるためにコーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの遵守徹底に努めています。</p> <p>平成25年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて教職員の資質向上に努めています。</p> <p>事務職員および通信課程の専任教員は、麻生塾の人事考課に準じ、看護科の専任教員は、関連病院の人事考課に準じています。</p>	特記事項なし

点検項目		適・否	現状と課題
7-1	理事会が定期的開催されているか。	適	寄附行為、学則変更時などに適時開催している。
7-2	評議員会が定期的開催されているか。	適	寄附行為、学則変更時などに適時開催している。
7-3	理事会・評議員会の議事録は作成されているか。	適	作成し時系列に保存している。
7-4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的開催されているか。	適	月1回および必要に応じ適時開催している。
7-5	組織の構成員のそれぞれの職務分掌が文書化されているか。	適	文書化している。
7-6	決裁規程が文書化されているか。	適	稟議規程として文書化している。
7-7	人事規程が文書化されているか。	適	就業規則として文書化している。
7-8	人事考課制度は文書化されているか。	適	新入材マネジメント制度を導入して文書化している。
7-9	昇進・昇格制度は文書化されているか。	適	昇進・昇格制度は文書化している。
7-10	賃金制度は文書化されているか。	適	給与規程として文書化している。
7-11	採用制度は文書化されているか。	適	採用までの流れとして文書化している。
7-12	防災・防犯・非常時対策に対して文書化されているか。	適	危機管理マニュアルとして文書化している
7-13	防災・防犯・非常時対策に対して組織化されているか。	適	危機管理マニュアルに記載して組織化している。
7-14	定期的に防災訓練を実施しているか。	適	年1回実施している。
7-15	個人情報保護規程が文書化されているか。	適	個人情報保護管理規定として文書化している。
7-16	ハラスメントに関する規定が文書化されているか。	適	文書化している。
7-17	公印管理簿があるか。	適	校印管理簿は作成しており、総務課で管理している。
7-18	出退勤管理簿があるか。	適	出勤簿にて管理している。
7-19	受信・発信簿があるか。	適	受信についてはファイリングにて、発信については発信簿で管理している。
7-20	SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施されているか。	適	「研修計画一覧」に基づき実施している。
7-21	教職員の健康診断がされているか。	適	就業規則に基づき実施している。

基準 8. 財務 自己点検・評価項目	
財務体質が健全であり財務運営が適切に行われているか。	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
<p>年度予算を計画的に管理しており、今年から四半期毎に経営会議に報告しています。またコンプライアンスを遵守し学校会計原則のルールに従い会計処理を行っています。</p> <p>各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い正しい会計処理・運営に関して指導を行っています。</p> <p>外部監査も毎年受け承認を受けています。</p>	<p>固定資産の管理について少額資産について学内及び学校間移動により実態把握が困難となる場合があります。移動ルールの作成及び資産の把握のための管理方法としてバーコード管理等の検討が急務として既に検討に入っています。</p>

点検項目	適・否	現状と課題
8-1 年度予算、中期計画が策定されているか。	適	年度予算は作成し、理事会にて承認している。中期計画は実施計画を作成している。
8-2 予算は計画に従って妥当に執行され定期的に確認しているか。	適	責任者が予算執行を行い、月毎に状況を確認している。
8-3 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	適	監査法人による監査を実施している。
8-4 会計監査の結果報告が文書等にて明確化されているか。	適	監査法人による監査が行われ適否が報告されている。
8-5 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか。	適	私立学校法における財務情報公開の体制整備はできている。
8-6 固定資産管理規程が文書化されているか。	適	文書化している。
8-7 図書管理規程が文書化されているか。	適	図書管理規程を作成し、管理している。
8-8 物品(消耗品、貯蔵品等)等の在庫管理をしているか。	適	管理台帳を作成し管理している。
8-9 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	適	施設設備については管理業者が定期的に保守・管理を行い報告書にて確認している。
8-10 物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	適	相見積りを義務化している。

基準 9. 改革・改善 自己点検・評価項目	
各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか。	
項目総括	特記事項(課題と解決方法)
自己点検・評価委員会が組織されており、評価項目ならびに評価時期を明文化しています。自己点検・評価の必要性、結果の検証ならびに改善計画についても、全教職員に向けて、キックオフ会議等で共有する機会を設けています。	特記事項なし

点検項目		適・否	現状と課題
9-1	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	適	文書化している。
9-2	自己点検・評価の組織があるか。	適	自己点検評価委員会を組織化している。
9-3	評価・改善を行うための組織があるか。	適	委員会と学科責任者で組織化している。
9-4	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか。	適	キックオフ会議や教務全体会で設けた。
9-5	自己点検・評価の必要性を全教職員で共有する機会を設けたか。	適	キックオフ会議や教務全体会で共有している。
9-6	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか。	要改善	部門に一任されているため監査組織の設置を検討中。
9-7	自己点検・評価報告書があるか。	適	文書化している。
9-8	自己点検・評価報告書が公開されているか。	適	HPに公開している。